

登録コード	UA110600	開講年度	2026				
授業題目	労務管理特講					担当教員	岩田 一哲
						副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・6時限		
				授業形態	講義		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」					【授業の達成目標】	
	2 6 UAカリ・総人社・経済学, 2 5 UAカリ・総人社・経済学, 2 4 UAカリ・総人社・経済学						
	【経済学】経済学分野の高度で先端的な知識と技能を有する。					労務管理における主要なトピックスの内容を理解し、そのトピックスについて、自分なりにどのように考えるのかを提示できる。	
	【経済学】専門知識に基づく論理的な思考の下に、地域・社会・経済について、必要な量的・質的データを採取する能力及び、採取したデータを用いた実証分析や社会調査を行う能力を有する。その分析能力を、地域・社会・経済の課題解決に多面的に展開できる応用力を有する。					労務管理における主要なトピックスの内容を理解し、そのトピックスについて、自分なりにどのように考えるのかを提示できる。	
(2)授業の概要	この講義は、従業員の働き方について、企業側・従業員側の双方からのアプローチを検証することで、労務管理の全体像をつかむことを目的とします。企業側については、企業が行う労務管理に関連する施策が、従業員の働き方にどのような影響を与えているかを検討します。従業員側については、従業員の態度や行動が、どのように企業の生産性につながっているか、あるいは、つながっていないかを検討します。 この授業は、Zoomを使用したリアルタイムオンライン授業（遠隔授業）です。ZoomミーティングのURLは、eALPSまたはメールにて事前にお知らせします。						
(3)授業計画	第1回：イントロダクション・人的資源管理入門 第2回：組織能力（1） 第3回：組織能力（2） 第4回：モチベーション（1） 第5回：モチベーション（2） 第6回：リーダーシップ（1） 第7回：リーダーシップ（2） 第8回：コミットメント（1） 第9回：コミットメント（2） 第10回：雇用（1） 第11回：雇用（2） 第12回：賃金（1） 第13回：賃金（2） 第14回：まとめ（各自の興味に基づく議論） 期末試験の有無：無 なお、（1）が教科書による基本的内容の把握、（2）が最新の文献の検討です。第2回以降の内容は、受講生の興味等で変更します。						
(4)成績評価の方法	講義は受講者の報告ならびにそれにとまなう議論で行います（2回～14回）。したがって、発表者は発表内容の理解ならびにその報告が必要であり、発表者以外の受講者は議論に参加できるかどうかに関われます。						
(5)成績評価の基準	最低限の報告ができれば「水準にある（可）」、報告に工夫が見られるあるいは質問ができる場合は「やや上にある（良）」、報告・質問ともに議論に値する場合は「かなり上にある（優）」、議論の前提等も踏まえて、より建設的な報告・質問ができれば「卓越している（秀）」。						
(6)事前事後学習の内容	講義終了時に次回講義の予習ポイントについて説明をするので、事前に教科書を読んで講義に出席すること。						
(7)履修上の注意	発表の際には、他の受講者の質問に耐えられる報告を行うことが必要となります。このため、指定された内容のみならず、その内容との関連の議論に耐えられるだけの予習が必要です。事後的には、議論になった内容について、その背景と自分なりの結論を用意しておくことが重要です。						
(8)質問、相談への対応	授業中の質問を歓迎する。個別の質問がある場合には、メールで日時を相談してください。						
【教科書】	上林憲雄編著（2016）『ベシッププラス 人的資源管理』中央経済社。						
【参考書】	最新の文献については、講義時に指示します。						